

SQL 文の処理時間を減らす考え方

SQL 文の処理時間を減らすためには、処理時間のどこが長時間となっているか判別します

手順 1.

Elapsed 時間が大きい場合 CPU 時間と待機イベント時間に分割します
(アイドルではない) 待機イベント時間 = Elapsed 時間 - CPU 時間

手順 2. - A

待機イベント時間が大きい場合の対処

待機イベント時間が小さくなるような対応を取る
(待機イベントの種類ごとに異なる手法)

- ・キャッシュ・バッファの追加
- ・ディスク分散、初期化パラメータの変更
- ・SGA メモリと PGA メモリの拡大
- ・バックグラウンド・プロセス数の追加
- ・排他ロック競合処理の実行時間帯変更

手順 2. - B

CPU 時間が大きい場合

CPU 時間が小さくなるような対応を取る

- ・実行計画の変更
- ・SQL 文チューニング
- ・インデックスの作成
- ・ヒストグラムの追加
- ・オブジェクトの統計情報更新
- ・パーティショニング・テーブルの作成
- ・マテリアライズドビューの追加
- ・テーブルとインデックスのメモリ常駐化